

アメリカ留学を終えて

国際学部 2年 角田絵理奈

私は高校生の頃から海外に憧れを持っていて、英語が好きだったのでいつか英語圏の国へ留学し本場の英語を勉強したいと思っていました。なので今回のアメリカ派遣留学への参加を決意しました。渡米するまでにビザの取得などたくさんの準備が必要で、特に私はアメリカで生活するには受けていなければならないはしか・風疹・おたふくのワクチンのうちおたふくのワクチンを赤ちゃんの頃にうけていなかったため、それを受けに行ったり、その書類を書いて提出をしたりとバタバタしていました。バタバタしているとあっという間に出発の日が訪れて、英語の勉強もろくにしないままアメリカへ出発しました。行きの飛行機では初めての長時間フライトで緊張と同時に、悪天候で飛行機がとても揺れて怖かった覚えがあります。そうしてやっとアメリカのカンザスシティという都市の空港に着き、荷物を受け取りバスに乗って学校へ向かおうとしたときに、ここで私たち NUIS の学生の寮が分かれることを知らされました。例年は全員が **Franken Hall** という寮で生活をしていましたが、今年は人数が多いため **Franken Hall** と **South Complex** の2つの寮に分かれて寮生活を送りました。私が住むことになった寮は **South Complex** でした。寮に到着したのは夜の11時頃でしたが、寮には現地の学生が私たちを出迎えてくれて部屋まで案内をしてくれました。しかしそこで部屋の説明をされるのはもちろん英語でしたがその英語が全く理解できず、とてもショックを受けました。日本にいた時に耳にしていた簡単でゆっくりな英語とは真逆で、とても早くて発音にも慣れていなかったため最初は戸惑いました。ですが留学後半の頃には聞き取れるようになっていました。

・寮生活について

私たちの寮はとても綺麗で住みやすかったです。寮の一階のロビーによく集まっておしゃべりやゲームやお菓子を食べるなどをして、留学前はあまり話すことがなかった NUIS の学生とも仲良くなることができました。キッチンも備え付けられていたので、恋しくなっていた日本食やいろいろな料理を作っていました。ビリヤードや卓球をすることもできました。

・授業について

私たちは ESL というクラスで毎日勉強していました。この ESL では A,B グループの二クラスに分かれ朝 9 時または 10 時からお昼の 3 時まで授業を受けました。私のクラスには日本人・韓国人・中国人・サウジアラビア人がいて、授業中に各国の文化や政治などをリアルな意見や体験談をもとに比較できたところがとても印象に残っています。授業は当たり前ながら全て英語ですし、授業への参加率を最重視されているため発言がとても求め

られるため最初はとても不安を感じました。ですが ESL の先生たちはとても親切で、私たちのような英語が母国語ではない学生に教えるのにとっても慣れているため、もしわからない英語があった時にわかりやすい英語に言い換えてくれたり、身振り手振りで表現してくれたため、すぐに理解することができました。授業の内容は日本語でも難しい議題についてグループでディスカッションをする授業や、クラスみんなの前に立ってスピーチをするテストもありました。宿題も毎日大量に出され、大半はテキストの問題を解くものですが、中には今までしゃべったことのない人にしゃべりかけて友達になるという宿題もありました。最初はなんでこんな宿題を出すのだろうと思ったし、知らない人にしかも英語で話しかけるのはとても緊張しました。ですが、この宿題で新しい友達を作ることができたので良かったと思っています。私の一番苦手だった宿題は reading/writing の授業で毎週末に出される article report という、一つの記事を読んで要約をし、自分の意見を述べるという課題です。文章を読んでまとめることが苦手な私にとって、とても辛くて時間のかかる課題でした。ですが、この課題のおかげで英語を読む能力が上がったと思います。



・ Conversation Partner

NUIS の学生 2~3 人と現地のアメリカ人学生 1 人とグループになって週に 2 回一時間ずつ話す Conversation Partner (CP) というものがありました。毎回「家族」「趣味」「好きな動物」など自分たちでテーマを決めてお話をしていました。そこから発展してキャンパス内を散歩しながら話したりご飯を一緒に食べたりと様々なことをしました。私の CP の Madeline は小学校の先生を目指していてとても可愛らしく親切で優しい学生でした。最初の頃は彼女の話す英語が聞き取れず、わからない反応をすると同じことを同じスピードで繰り返すだけで、全く何を言っているのか分かりませんでした。会話の内容を広げることもできませんでした。しかし、回数を重ねるごとに私の耳も慣れてきたと同時に Madeline もわかりやすい英語に言い換えてくれたりゆっくりしゃべってくれるようになり、色んな話題について話せるようになって CP の時間がとても楽しくなりました。CP のおかげで彼女と仲良くなり、休日に彼女の車で犬や猫に触れる動物保護施設に連れてってもらったり、一緒に買い物に出かけたりなどしました。また、住んでいるアパートにも招待してくれて飼っているハムスターと遊んだりご飯を一緒に作って食べて映画の DVD を見たりととても充実させてくれました。帰国した今でも頻繁に連絡を取り合っています。

す。



・放課後や休日の過ごし方

放課後や休日にはなるべく現地の友達との交流を優先的に行動していました。毎日のようにイベントがあり、音楽に合わせて歌ったり踊ったりするイベントや花火、アーチェリー、ファッションショー、ビンゴ大会、広いキャンパス全体を使つての宝探しなど数えきれないほど様々なイベントに参加しました。中でも大イベントがフットボールの試合観戦です。私たちの学校のフットボールチームはとても強くて毎回盛り上がります。ハーフタイムで行われるマーチングバンドとチアリーディング部とダンス部のパフォーマンスはとても綺麗でかっこよくて興奮しました。これらのイベントに参加してそれについて週に一度授業の初めにクラスの中の2人か3人が簡単にスピーチをすることもありました。イベントに参加することでイベント自体を楽しむこともできましたが、友達を作ることでもできてとてもよかったです。イベントに参加する以外には、寮で友達と話したり課題をしたり、近くの部屋に住んでいるアメリカ人の友達とご飯を食べに行ったり、学校の一番近くにある Walmart という食材や衣服、雑貨等何でも売っているお店に行つて買い物をしていました。この Walmart というお店は歩いて30分ほどかかるため、私たちのように車を持っていない留学生のために学校が出しているバスに無料で乗ることができました。ですが、このバスがあまり時間通りに運行せず、停留所に着く予定時間よりも20~30分遅れてくることや、やっと来ても定員がいっぱいで乗れなくてさらに待たなければならないという状況も多々ありました。「歩いた方が早い」と思った私たちはよく歩いて買い物に出かけていました。歩いている途中で今までは知らなかった面白そうな店やおもしろいレストランを発見することができ、色んなお店に行くことができました。服屋さん、薬局、1ドルショップ、中華料理、ピザ、ハンバーガー、タイ料理など、小さい町ながらも一歩学校の敷地から出ると様々なお店がありました。



・ルームメイトについて

私のルームメイトはアメリカ人でした。**Laura** という名前で、とても優しくて親切にしてくれました。まだアメリカでの生活に慣れていないところに「何か困ったことがあったらなんでも言って」や、私が宿題をしていると「わからないところがあったら教えるよ」などと言ってくれました。私はルームメイトがアメリカ人であることはすごいチャンスだと思い、彼女と積極的に色々な話をしました。**Laura** はごく普通の学生のため、**ESL** の先生とは違って、「スラング」という私たちが日本での英語の授業では習わない現地の若者が使うだけた英語も頻繁に話していたり、たまに友達を連れてきて紹介されたりとリアルな現地のアメリカ人学生の様子を知ることができました。二人とも暇な時はご飯を食べに行ったり買い物をしたりもしました。お互いの友達も紹介しあい、一緒にご飯を食べたりゲームをしたり映画を見て仲を深めました。



・ Thanks giving day

私が一番印象に残っている行事は Thanks giving day です。Thanks giving day とは、日本のお正月みたいに学校や仕事もすべて休みになって家族や親せきで集まってターキーなど伝統料理を食べる祝日のことです。私はルームメイトの Laura の家に滞在しました。Laura の両親は彼女に似てとても親切で常に私を気遣ってくれる優しい人たちでした。ここで初めてアメリカの家にお邪魔しましたが、とても広くて壁紙や家具、食器など何から何までお洒落でとても驚いたのを覚えています。Laura の祖父母の家にも行き、大勢の親戚が集まっておいしい伝統料理を食べたりゲームをして過ごしました。私が日本人ということで日本にとっても興味を持ったおじいさんがたくさん話を聞いてきてくれました。そこで色々な文化の違う点や同じ点も学ぶことができました。新潟のことや、漢字・ひらがな・カタカナを教えたり、一緒に折り紙を折って遊んだりもしました。アメリカのカードゲームなどを教えてもらいましたが、初めてするゲームでルールを覚えるのも大変な上、英語で説明されるのでついていくので必死だったのも今では良い思い出です。



・最後に

このアメリカ留学を経て、私はただ英語を勉強しただけではなく、様々な国籍の人とかわることで文化の違いなど様々なことを学ぶことができました。母国語や人種が違って、結局は人と人なので強い信頼関係を得ることもあればうまくいかないこともあるということがわかりました。この4か月はとても濃くて毎日が忙しくてあっという間に過ぎてしまいました。今は4か月間お世話になった現地の先生方や友達、一緒に留学をした NUIS のみんな、決して安くはない留学費用を出してくれて応援してくれた家族に感謝の気持ちでいっぱいです。